

分類	有識者会議委員の提案・意見等	方針・回答
<p>2025年1月開催の多摩市立図書館各館での市民意見交換会について</p>	<p>・市民意見交換会を全館ベースで一斉開催することは、今回の新計画を、各館のサービス係、窓口担当に自分事（企画運営の仕事ではなく）にしてもらいたい機会である。図書館員が新計画の策定を自分の言葉で語れるようになることが望ましい</p> <p>・新計画では各地域館の置かれた環境などを踏まえた個別計画を立案しこれに基づいて各館の特徴を生かしたサービスや運営＝図書館づくりが求められている</p> <p>・今回の意見交換会は、新計画への理解や意見を聞くとともに、今後各館での図書館員と利用者との継続的な対話を促す貴重なチャンス</p> <p>・せっかく全館開催という手間をかけるのだから、館長のリーダーシップで参加者を確保する創意工夫を施すことで各館のファンを増やし、新計画策定に向けての市民対話の成果として、策定委員会や各部署、有識者会議にも報告できる</p> <p>・各館の参加人数は、新計画策定を巡るエポックメイキング（画期）であり、試金石である（具体的なアイデア）</p> <p><図書館運営組織内></p> <p>・館長や部内会議で、利用者の積極参加を呼び掛けるよう働きかける</p> <p>・各館の窓口で、チラシを使って積極的に参加を呼びかける</p> <p>・期限を切って、各館での呼びかけの工夫事例を報告してもらい、他館にも共有する</p> <p>・通常の組織であれば、年初に渡邊館長が各館を回ると思うので、その機会に各館で働きかけをする</p> <p><利用者・市民向け></p> <p>・まずは図書館利用者に新計画を身近に感じてもらうため、各館に有識者会議の資料ファイルを活用し、有識者会議の資料や記録の案内を窓口で行う</p> <p>○チラシを多めに印刷し、以下のような工夫をする</p> <p>・各館の窓口で、チラシを使って積極的に参加を呼びかける（再掲）</p> <p>・チラシの「自館開催」の関係個所にマーキングする</p> <p>・なるべく目立つ場所にチラシを置く、切らさないように心がける</p> <p>・チラシを置くだけでなく、館内外の要所に掲示する</p> <p>・これまで意見聴取をした障がい者団体、外国人向けサポート機関などにもチラシを送り、広報を依頼する</p> <p>・コミセンや複合施設内の他の施設にもチラシを置いてもらう（育てる会では、図書館以外に、公民館のほか、市長副市長や議会事務局経由各議員、協創推進室などの関係部署にも配布）</p> <p>・複合施設のあり方が課題となっている拠点では、町内会や図書館友の会など、関係者に幅広く参加を呼び掛ける</p> <p>（当日の進行）・・・開催趣旨について、認識相違がないことが大切</p> <p>・新計画の説明に加え、市民意見交換会の開催趣旨（図書館と利用者の対話の促進など）を丁寧に伝え、有意義な会合としたい</p>	<p>資料4-3 「(仮称) 第二次読書活動振興計画」市民意見交換会について（報告）を参照</p>